

あおやぎクラブ通信

こんな時代だからこそ お客様と等身大で繋がりたい
そんな思いから作られたあおやぎクラブ通信



想いを込めて
自社制作の
てづくり広報誌

第2号

人生の節目

人生には 節目があります。そして、人生の節目には必ず儀式があります。
時代が変動していく 現在でも 年に一度のお誕生日、初節句、入学・卒業、成人、結婚、長寿のお祝いなど

皆さんはどう過ごしていますか？ 何を大切にしていますか？

忙しく流れる時間の中でもどのような状況下で行われてもその時間、言葉、表情はきっと皆さんの心に刻まれています。
『おめでとう』『ありがとう』そこには、大切な家族や友人がいて その時限りの時間が流れます。

葬儀も同じです。人生100年時代。人生の締めくくり。

葬儀は、その人が生きてきた 一生分の
『ありがとう』『だいすき』『おつかれさま』『さようなら』を…伝える節目。

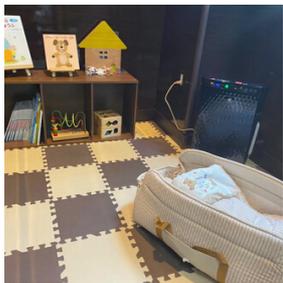
選択肢は多様化し、その分自分自身で考えることが重要になっています。
お客様自身が納得いく形態と価格で、後悔しないお別れの時間をサポートいたします。

チーム青柳で支える ひとつの葬儀



↑朝の朝礼の様子。社内の状況を社員全員で把握します。

セレモニーホール青柳の強みの1つが『1人の担当者が一貫してお客様をサポートすること』とお話しています。それはお客様に安心、信頼して葬儀を行ってもらいたいという気持ちがあるからです。たった2日〜4日との短い時間の中で担当者がコロナと変わってしまつては『誰に何を相談して良いのか…』と不安ですよ。1人の担当者が一貫してお客様へサポートできるように、裏ではチーム青柳が強いチーム力を持ってお客様と担当者を支えております。1つの葬儀を行うのに、裏方の仕事どれ一つかけてもいけないのです。青柳の強み『1人の担当者の一貫したサポート』の裏側には『担当者を支える青柳のチーム力』があります。葬儀は決して1人ではできません。1人ではできないこと。はじめはできないこと。それを乗り越えられるチーム力を磨いています。



絵本大好き広報の おすすめ絵本

ずーっとずっとだいすきだよ

作 ハンス・ウィルヘルム
訳 久山 太市

先日私の実家の愛犬セブンとお別れをしました。十七歳：人間で言うと八十五歳。頑張りました。寂しい…と涙をボロボロと流す私を横目に『さびしいけど、よかった、がんばった』と涙を流しながらも 前を向く母がいました。2年間 寝たきりだったセブン。母は2時間置きにお水をあげて、オムツを変え、痛がる時さすり、ご飯と一緒に食べ、そして、いつも隣で一緒に寝ていました。『よかった』と言えたのは母の精一杯向き合った結果だったのだとおもいます。避けられぬ別れは誰にでも必ず来ます。この絵本は死をテーマにした絵本ですが、愛することの大切さ、自分の気持ちを言葉で伝える事の大切さを再確認できる一冊です。そして前向きなエンディングが私は大好き！エルフィーを可愛がっていた少年が エルフィーの死後周りが悲しくみくれている時にこう話します。

ぼくだって、
かなしくてたまらなかったけど、
いくらか、きもちがらくだった。
だってまいばんエルフィーに
「ずーっと、だいすきだよ」って
いってやっていたからね。

(本文から引用)

お別れには後悔がつきものですよ。どんなに向き合っていたって、あーしとけば良かったと考えない人はいません。この絵本は青柳のキッズルームにも置いてあります♪(コロナ対策の為、現在は撤去中) 我が家にもあるので、長く大切に読んでいきたい一冊。よかったらみなさんも読んでみてください。

フレッシュ！！遠軽の『たかはしはなや』からきた 研修生高橋くん特集



去年の四月から青柳に研修生として来た高橋くん。高橋くんのご実家は遠軽にある葬儀社さんで、北海道葬祭業協同組合の仲間でもあります。『一人前に成長したい』と青柳に信頼を置いて、研修に来てくれることは、私達にとって嬉しいことでもあり身が引き締まる思いです。そして、私達自身が研修生から刺激を受けることも多くあります。教えると同時に教わる事がたくさんありますよね！初心を忘れちゃいけません。いつ会っても『お疲れ様です！』とフレッシュに声をかけてくれるので、こちらまでフレッシュな気分になります。この一年、高橋くんは葬儀の担当者ではなく、担当者の補助として、葬儀に携わり頑張っていました。その中でも、多くの時間を共にしたのが青柳スタッフの永井さんです。高橋くんは永井さんから常にメリハリを持って働く事を教えてもらったと言います。『寝る時に寝て、食べる時に食べて、体力をつけること』『休むときは休んで、スイッチを入れる時に入れる』と。とても大事な事ですよ。いつ、どのタイミングで、ご依頼があるかわからない仕事。どんな状況でも、こそこそという時にベストな状態で仕事にのぞむことが求められます。葬儀の仕事は、当番制ではありませんが365日24時間体制で動きます。細かな気配りから、納棺の儀式、メイク、葬儀進行、力仕事、、、この仕事に限らず『寝る』『食べる』『休む』ことは仕事を覚えるのと同じくらい大切なかもしれません。高橋くんが研修を終えてしまうのは寂しいですが、持ち前の体力で遠軽でも頑張ってください。応援しています！ありがとうございます。

研修を終えてみて 高橋将太郎

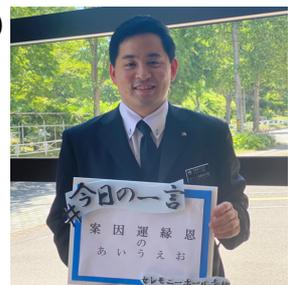
四月から一年間、大変お世話になりました。最初はやったことない事や知らない事が多すぎて『一年間やっていけないかな。』と思っていました。永井さんをはじめ、青柳の皆さんに親切に教えていただきました。葬儀のことはもちろん、葬儀以外の部分でも学べることはたくさんありました。中でも印象的なのが、お客様と担当者との信頼関係です。お客様は『青柳』と『担当者』両方への信頼を持ち葬儀を依頼されていることが多く、私も『この会社この人に葬儀してもらって良かった』と思ってもらえるようになりたいと思いました。「青柳に何しに行っただ」と思われないうちに遠軽でも頑張ります。ありがとうございます。

高橋くんが大切にしている 恩師からの言葉

あいうえおに『ん』をつけます！

- あ【案】～考える
- い【因】～原因、物事の考えに従う
- う【運】～巡り合わせ
- え【縁】～人や事へのつながり
- お【恩】～感謝

青柳でお世話になり（運）
ただ時間が過ぎるのではなく
物事への意味を考え学ぶことを大切に（因）
お客様や社員の人と出会いを忘れず（縁）
感謝の気持ちを持って今後も頑張ります（恩）



中学、高校、大学とアルペンスキーをしています。スキーをしていた時の恩師から人生において重要なことを教わり、毎日頃大切にしている言葉です。

次回の会員様プレゼント
令和4年度 イベントのお知らせ

秋のお彼岸

9月20日 21日 22日

慰霊祭

9月23日

コロナ感染症拡大等により 予定を変更する場合がございます。
改めてホームページ、DMにてお知らせいたします。



セレモニーホール青柳
いつでもお気軽にご連絡ください
〒065-0019

札幌市東区北19条東22丁目5-25

011-784-7300